

## マレーシア国 テナガ ナショナル大学 の 本学の人工衛星開発室への訪問について

日 時:平成 30 年 5 月 17 日(木) 13:00~16:00

場 所:福井工業大学 1 号館 1 階 第 2 応接室

(福井市学園 3-6-1 福井工業大学福井キャンパス内)

来 学 者:・マレーシア国 テナガ ナショナル大学 6 名

Universiti Tenaga Nasional(略称;UNITEN)(テナガ ナショナル大学)

Department of Electronics & Communication Engineering(電気通信工学科)

ノラシダ(NORASHIDAH)工学部長 他 5 名(工学部教員及び研究スタッフ)

・株式会社ビジョンテック(茨城県つくば市梅園 2 丁目 1 番 16) 2 名

代表取締役 原 政直 氏、技術開発部開発課主任 松井 佑介 氏

本学担当:本学電気電子工学科 教授 中城 智之(なかじょう ともゆき)

(“ふくい PHOENIX プロジェクト” プロジェクト事業推進コーディネーター)

内 容: 13:00~14:30 福井工業大学における超小型衛星の開発と利用の紹介

14:40~16:00 超小型衛星開発室の見学と意見交換

### 【テナガ ナショナル大学】

テナガ ナショナル大学はマレーシア電力公社が運営する大学(略称:UNITEN)です。クアラルンプール郊外に建設された行政都市プトラジャヤに位置します。工学部、情報工学部のほか、経営管理・会計学部を有するマレーシアを代表する私立大学です。

本学の“ふくい PHOENIX プロジェクト”にご協力いただいている株式会社ビジョンテック様と UNITEN が取り組んでいる共同研究に関連して、本学の超小型衛星開発について学ぶため来学します。

なお、今回の来日期間中に、本学のほか東京大学大学院工学系研究科、日本大学理工学部航空宇宙工学科を訪問する予定です。

### 【“ふくい PHOENIX”プロジェクト】

(平成 28 年度文部科学省 私立大学研究ブランディング事業採択)

北陸地域最大の直径 10m パラボラアンテナなどをキャンパスに備え、宇宙環境を利用した研究ブランドの確立を目指す本学が、地域と連携しながら、「宇宙研究軸」「観光文化研究軸」「地域振興研究軸」の 3 つの研究軸に沿った事業を推進し、新たに『宇宙』を福井の地域イメージとして定着させることで、観光や文化、地域産業の振興を実現することを目的とします。平成 31 年度の人工衛星打ち上げを目指し、衛星データの利用を通じ地域貢献できる研究活動を行うべく取り組んでおります。



FUT 超小型人工衛星イメージ図